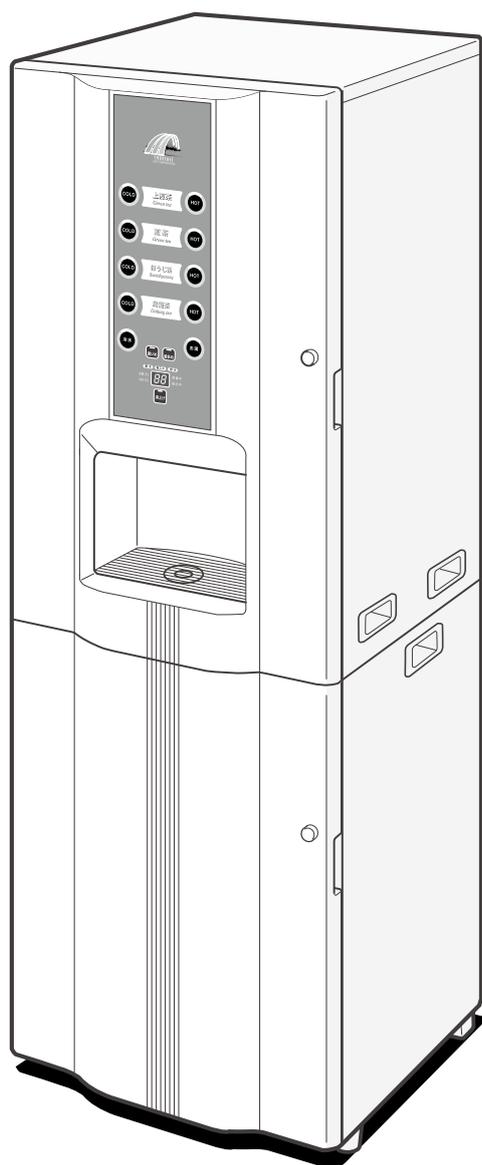


# ティーサーバー 取扱説明書

形名

## HTC-1050M



## もくじ

安全上のご注意	1~3
お願い	4
各部のなまえとはたらき	5~7
電源の入れかた	7
給水のしかた	8
排水のしかた	9
原料の入れかた	10
コントローラーの使いかた	11~29
コントローラーで設定できる機能	11~12
数値設定する機能の設定可能値	13
沸騰させる	14
冷水機の運転・停止	15
適温になっていないが抽出する	15
リンスする	15~16
原料基準値を設定する	17
原料の量を設定する	17
飲料の量を設定する	18
濃さの追加を設定する	18
量の追加を設定する	19
カップサイズを設定する	19
累計の抽出回数を見る	20
休止・故障履歴を見る	20
現在時刻を合わせる	21
湯温・適温を設定する	21
週間予約を設定する	22
休日予約を設定する	23
エコ制御運転を行う	24
省エネ運転を行う	25
学習省エネ運転を設定する	26
自動的に湯タンクの水を入れ替える	27
水フィルターの交換時期を設定する	28
冷却用タンクの水の交換時期を設定する	29
お手入れ	30~32
修理サービスを依頼する前に	33~34
仕様	34
長期使用製品の安全に関する表示	35

- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

# 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、据え付け工事をするかた、お使いになるかた、他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

据え付け工事の完了後は、試運転を行い異常がないことを確認してください。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## 【表示の説明】

表示	表示の意味
 <b>警告</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 <b>注意</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

\*1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

\*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

\*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

## 【図記号の説明】

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 指示	●は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 注意	△は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

## 【本体ラベルの確認】

本体に警告・注意ラベルを貼り付けてありますので、ご確認ください。もし、ラベルが紛失していたり汚損により見にくいときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

## 免責事項

- 地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、改造、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断による損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

## ⚠ 警告

### 異常がある場合は、事故防止のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店に点検・修理を依頼する

異常のまま放置すると感電・火災・水漏れの原因になります。



電源プラグを抜く

### 分解・改造・修理はしない

発火したり、異常動作してけがの原因になります。



分解禁止

### 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



コンセントを単独で使用する

### 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



傷んだ電源コード、電源プラグ禁止

### 電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き乾いた布などでよくふく

ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。



ほこりをとる

### 漏電遮断器（電源スイッチ）の動作を確認する

故障のまま使用すると漏電のとき感電する原因になります。

漏電遮断器（電源スイッチ）のテストボタンを月に一度押して、動作を確認してください。



動作の確認

### アース（接地）線の取り付けを確認する

故障・漏電のときに感電する原因になります。

D種接地工事が必要です。またアース線はガス管・水道管・避雷針・電話線などへの接続はしないでください。



アースの接続

### 部品の取り付け、取りはずしおよびお手入れするときは、電源スイッチを切る

感電やけがの原因になります。



指示

### お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない

ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

### 原料容器棚には手を触れない

原料の防湿のため高温になっており、やけどをする原因になります。



接触禁止

### 飲料抽出動作中は機構部に手を触れない

けがをする原因になります。



接触禁止

### 湿気の多いところや、水のかかるところへは据え付けない

漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

# 安全上のご注意 (つづき)

## 警告

湯タンクヒーターを通电させずにご使用になるときは、お買上げの販売店に依頼し、必ず湯タンク内の湯を排水してください

再度、湯タンクヒーターを通电させるときは、必ず湯タンク内を洗浄してください

衛生上の問題や故障の原因になります。



衛生注意

### 地震などによる転倒防止の処理をする

振動により転倒し、けがの原因になります。



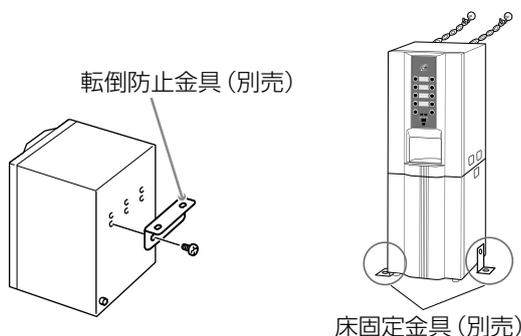
転倒防止

#### ティーサーバーの転倒防止

事故防止と地震などの非常時の安全確保のために、別売の転倒防止金具を使用して、壁や柱に固定してください。

#### ティーサーバーと置台の連結

置台に付属の取付金具B (3枚) を同梱の説明書の通り取付け、ティーサーバーと置台を連結してください。



#### 置台の転倒防止

置台を使用する場合は、グラグラしないように置台の高さ調整脚 (前2本) で高さを調整し、置台を別売の床固定金具で確実に固定してください。

## 注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く

感電やショートして発火する原因になります。



電源プラグを抜く

月に一度は電源プラグ部分を点検する

電源プラグとコンセントの接触が悪くなり、異常発熱して発火する原因になります。



電源プラグの点検

本体上に重量物を置かない

扉の開閉で落下し、けがをする原因になります。



上乗せ禁止

本体上に水を入れた容器を置かない

水がこぼれ電気絶縁が劣化し、漏電や感電の原因になります。



上乗せ禁止

本体の近くにガス類や引火物を置かない

発火の原因になります。



引火物禁止

水道法の水質基準に適合する水を使用する

お湯 (30℃以上) や適合しない水を給水すると、衛生上の問題や故障の原因になります。



指示

# お願い

## 原料を湿気から守るために

電源スイッチは、常時入れたままでご使用ください。

夜間等に電源スイッチを切っておくと、防湿ヒーターが働かず原料が固まり出なくなることがあります。

## 長時間お使いにならないとき

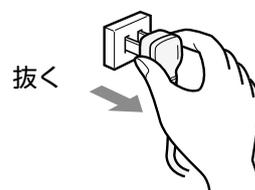
### 2日以上ご使用にならなかったとき

雑菌が繁殖している恐れがあります。

湯タンクの水を排水し、新しい水道水と入れ替えてください。

前面板を開け、電源スイッチを切り、カップステーションを取りはずし、湯排水コックを「開」にして排水します。排水が終了したら湯排水コックを「閉」にし、再度電源スイッチを入れます。

また、本体内の残水をするるために、飲料ボタンの「冷水」を5～6回押します。日常のお手入れは、湯排水コックを閉じておこなってください。

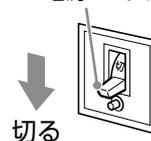


### 1週間以上ご使用にならないとき

原料容器の原料を全部取り出します。止水栓を閉め排水し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、「排水のしかた」(9ページ参照)に従い排水してください。

置台をご使用の場合は、水タンクや排水タンクの水も、必ず排水してください。

電源スイッチ



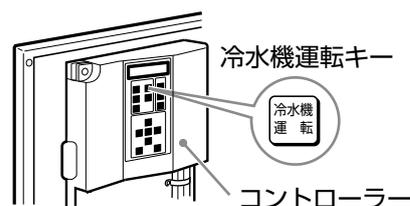
## お願い

置台CT-335Mの排水タンクや置台CAT-115Mの排水容器に排水するときは、ティーサーバー本体の湯タンクの容量が、排水タンクおよび排水容器の容量(10L)より多くなる場合があります。排水するときは必ず2回以上に分けて、溢れさせないように排水してください。

## 冬期などで冷水を長期間お使いにならないとき

コントローラーの「冷水機運転」キーを押します。表示部の指示に従い「ティシ」に設定し、冷水機を停止させ冷却用タンクの排水をおこなってください。

冷却用タンクの排水は、「年に一度のお手入れ」(32ページ参照)の排水方法に従ってください。

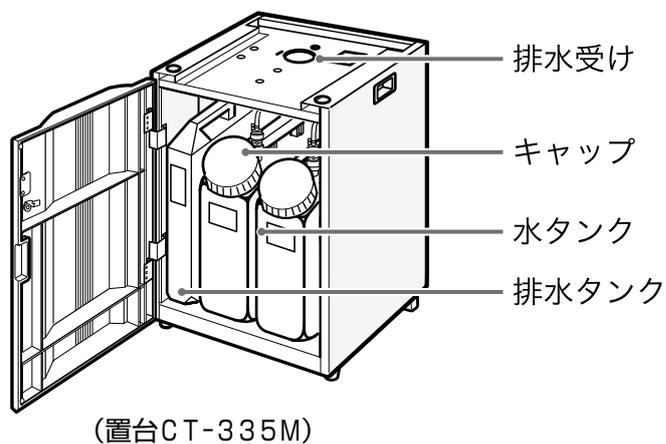
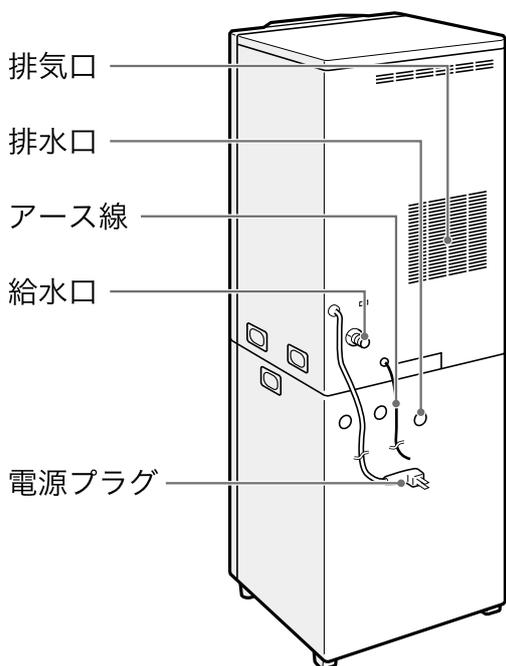
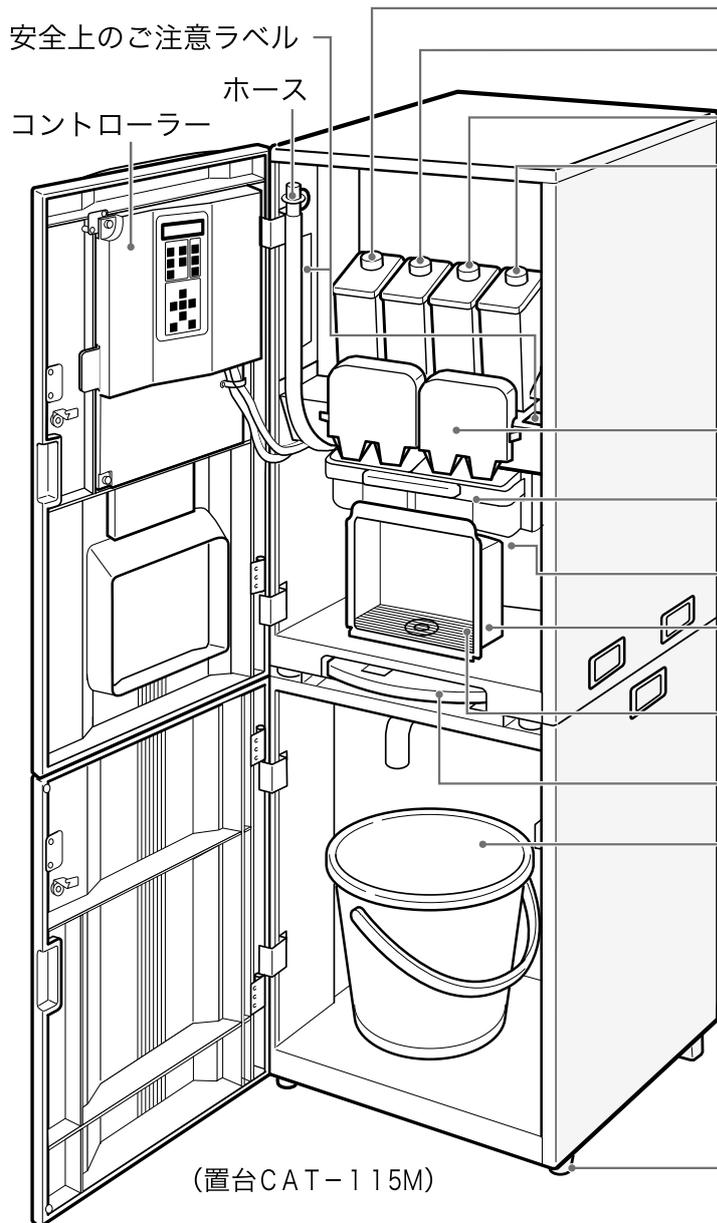
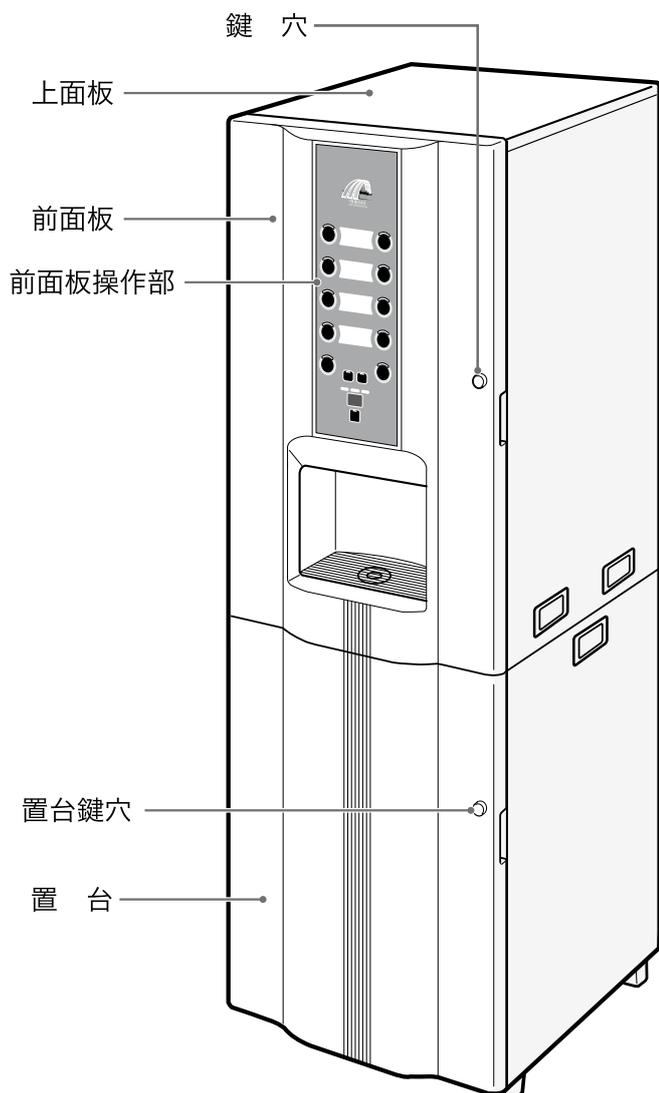


## お湯と水の配管部分は定期的に点検してください

水の中に含まれている成分の量により、水あかや沈殿物が発生し、故障の原因となる場合があります。

# 各部のなまえとはたらき

## 本 体

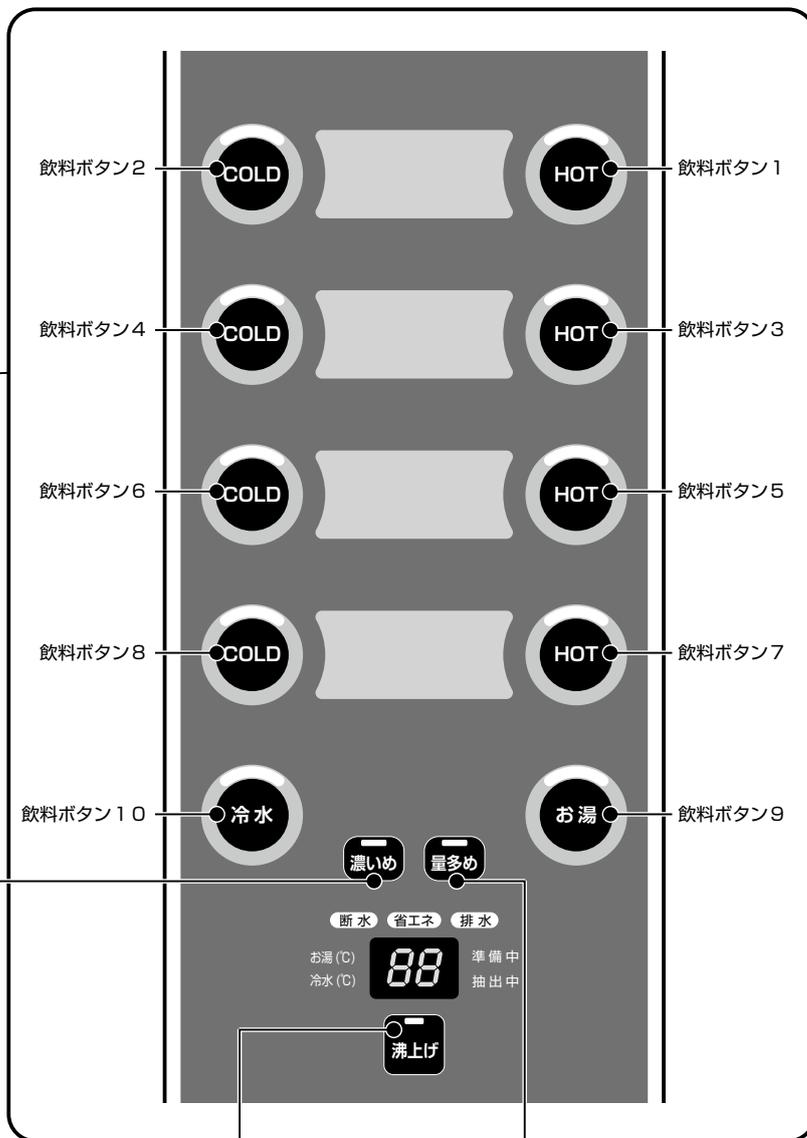
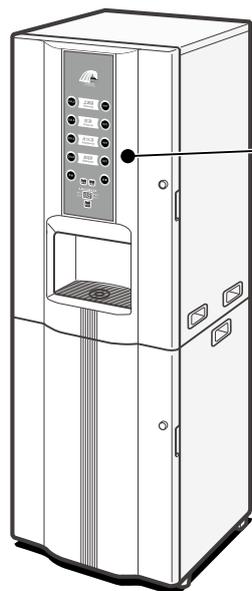


# 前面板操作部

- 原料容器 4
- 原料容器 3
- 原料容器 2
- 原料容器 1

- 原料シュート
- ミキシングボール
- ロート
- フィルター (奥側)
- カップ
- ステーション
- スノコ
- 排水皿
- 排水容器

- 高さ調節脚



## 濃いめボタン

濃いめボタンを押すとボタンランプが点滅し、飲料の濃さが追加されます。もう一度濃いめボタンを押すとボタンランプが消灯し、キャンセルします。(飲料ボタンを押す前に押ししてください。)

## 量多めボタン

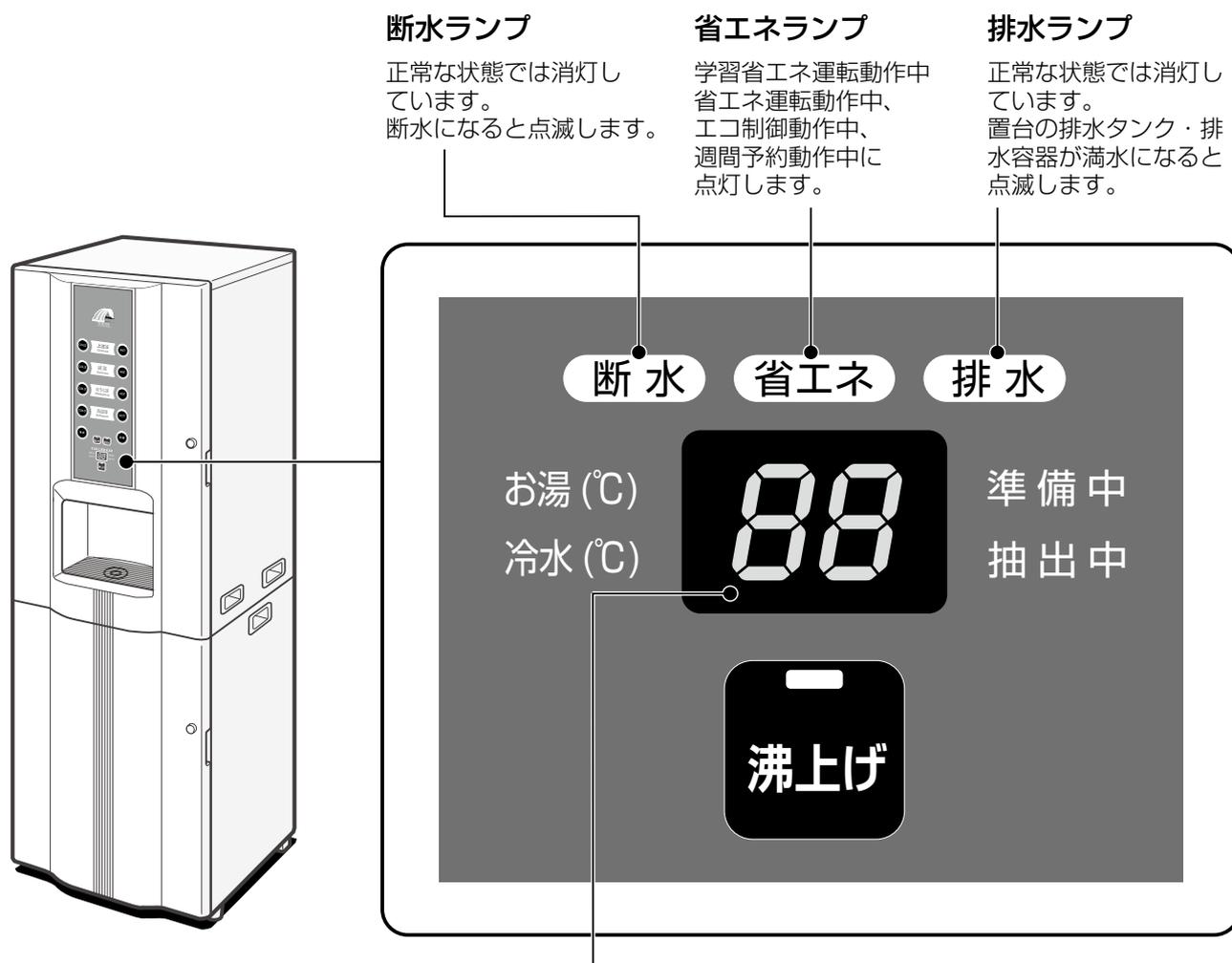
量多めボタンを押すとボタンランプが点滅し、飲料の量が追加されます。もう一度量多めボタンを押すとボタンランプが消灯し、キャンセルします。(飲料ボタンを押す前に押ししてください。)

## 沸上げボタン

沸上げボタンを押すとボタンランプが点滅し、湯タンクの沸騰動作を行います。もう一度沸上げボタンを押すとボタンランプが消灯し、キャンセルします。(沸騰動作が終了すると、ボタンランプは消灯します。)(沸騰動作中の間欠ブザー音は、消すことができます。)

# 各部のなまえとはたらき (つづき)

## 前面板マルチインフォメーション部



### デジタル表示

- お湯温度、冷水温度を交互に表示します。
- 沸騰動作中は、お湯温度を表示します。
- 飲料抽出中は、抽出終了時間をカウントダウンします。(カウントダウンは目安としてお使いください。)
- 故障時は右表の故障メッセージが表示されます。

水センサー開放	F 0	湯センサー下短絡	F 5
水センサー短絡	F 1	湯センサー異常	F 6
IBCセンサー異常	F 2	漏水	F 7
冷水機異常	F 3	電池異常	F 8
湯センサー下開放	F 4	コイン信号異常	F 9

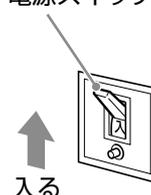
## 電源の入れかた

前面板を開けて電源スイッチを兼ねている漏電遮断器のレバーを上にあげると電源が入ります。電源スイッチは、常時入れたままでご使用ください。夜間等に電源スイッチを切っておくと、防湿ヒーターが働かず原料が固まり出なくなることがあります。

### 置台CT-335Mをご使用の場合

電源を入れる前に、置台の水タンク2個に満水レベルまで給水してください。水タンクが空の状態では電源を入れると、ポンプが故障する原因になります。

電源スイッチ



# 給水のしかた

前面板を開け、カップステーションを取りはずし、湯排水コックが閉まっていることを確認します。



## 湯タンクへの給水

Dタイプ(水道直結・直接排水・卓上式)、PAタイプ(水道直結・直接排水式) またはPBタイプ(水道直結・排水容器付)の場合

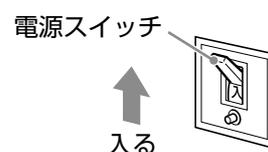
### 1 止水栓を開き給水する

水道の止水栓を開き、本体内部や給水配管からの水漏れがないことを確認します。



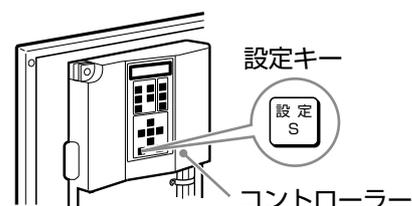
### 2 電源を入れる

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを上げ電源を入れます。湯タンクに自動的に給水されます。



### 3 断水や一度で満水にならないとき

断水や一度で満水にならないときは、断水ランプが点滅して給水を一時中止します。水道の給水を確認しコントローラー操作部の「設定」キーを押してください。給水を再開します。



## Tタイプ(下部給水・排水容器付)の場合

### ⚠ 注意

#### 2つのタンクに給水してから電源を入れる

1つのタンクに給水しただけでは正常に動作せず、故障の原因になります。



指示

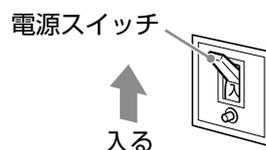
### 1 置台の水タンクに給水する

ポリタンクなどで、置台の水タンク2個に満水レベル(15L)まで給水します。給水しづらい場合は、水タンク上部のカプラをはずして、水タンクを給水できる場所まで移動して、給水してください。



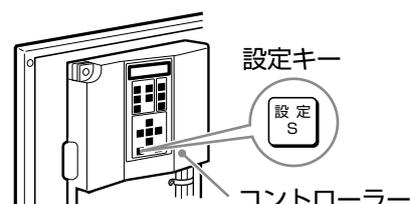
### 2 電源を入れる

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを上げ電源を入れます。湯タンクに自動的に給水されます。



### 3 水タンクが空になったり一度で満水にならないとき

水タンクが空になったり、一度で満水にならないときは、前面板の断水ランプが点滅し、給水を中断します。水タンクに水を補給し、コントローラー操作部の「設定」キーを押すと、給水を再開します。



## 冷却用タンクへの給水

冷却用タンクへの給水は「年に一度のお手入れ」(32ページ参照)の給水方法に従ってください。(満水になると休止モニターの「レイキャクスイダンスイ」の表示が3分以内に消えます。)

# 排水のしかた

## 湯タンクの排水

### 1 電源スイッチを切る

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを下げ電源を切ります。電源スイッチを切らないと、排水中に給水してしまいます。



### 2 湯排水コックを開き排水する

カップステーションを取りはずし、湯排水コックを開きます。置台CT-335Mの排水タンクや置台CAT-115Mの排水容器に排水するときは、ティーサーバー本体の湯タンクの排水量が、排水タンクおよび排水容器の容量(10L)より多くなる場合があります。排水するときは必ず2回以上に分けて、溢れさせないように排水してください。



#### お願い

2日以上ご使用にならないときは、雑菌繁殖の恐れがあります。湯タンクの水を排水してください。

### 3 湯排水コックを閉じる

排水が完了したのを確認し湯排水コックを閉じます。

## 冷却用タンクの排水

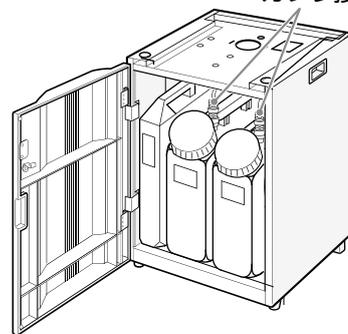
冷却用タンクの排水は「年に一度のお手入れ」(32ページ参照)の排水方法に従ってください。

## 置台 (CT-335M) 水タンクの排水

### 1 カブラをはずし排水する

電源を切り水タンク上部のカブラをはずし、水タンクを取り出し排水します。

カブラ接続部

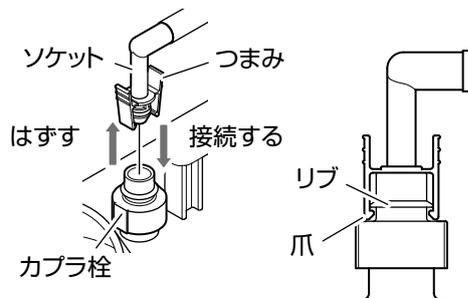


### 2 カブラの着脱

取りはずしは、ソケットのつまみを持ち、上方へ持ち上げはずします。

接続は、ソケットをカブラ栓に突き当たりまで差し込み、カブラ栓のリブにソケットのつまみの爪を引っ掛けて固定します。

接続するときは、ソケットの爪がカブラ栓のリブに引っかかって固定されていることを確認してください。爪がはずれていると、使用中にソケットがはずれるおそれがあります。



#### お願い

置台CT-335Mは、2日以上ご使用にならないときは、雑菌繁殖の恐れがあります。水タンクの水を排水してください。

# 原料の入れかた

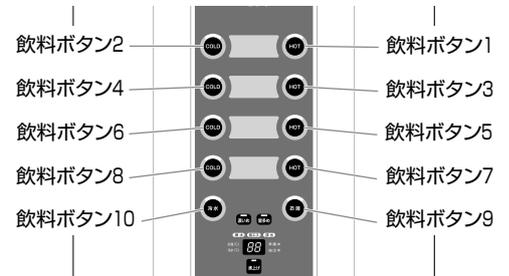
指定の原料以外はご使用にならないください。

原料の種類によって粒度や吸湿性が異なると、正常な動作ができないことがあります。

詳しくは、担当営業所にご相談ください。

## 1 原料容器と飲料ボタンを確認する

前面板の飲料ボタンと、原料容器の関係をまちがえないように、確認します。

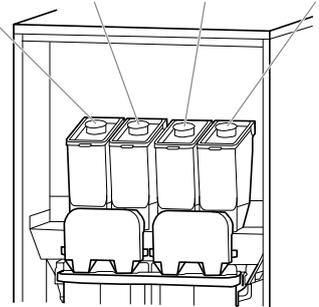


## 2 原料容器に原料を入れる

原料容器の蓋を開け、上から原料を静かに入れます。原料容器の容量は約800mlです。

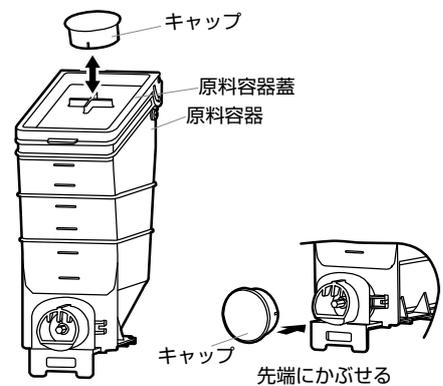
原料容器をたたいたりして、原料を無理に詰め込まないでください。内部で固まり出なくなることがあります。

原料容器4 原料容器3 原料容器2 原料容器1  
飲料ボタン7・8 飲料ボタン5・6 飲料ボタン3・4 飲料ボタン1・2



## 原料容器を着脱するときは

原料容器の先端から原料がこぼれないように、原料容器蓋についているキャップを取りはずし、原料容器の先端にかぶせ、静かに取り扱ってください。



# コントローラーの使いかた

## コントローラーで設定できる機能

### 2. 冷水機運転キー

冷水機の運転、停止を設定します。

### 1. リンスキー

ミキシングボールの洗浄動作を行います。動作時の湯水量、定期的リンスを行う設定は「選択」キーによる「自動リンス」で行ってください。

### 3. 沸騰キー

湯タンクの沸騰動作を行います。定期的に沸騰を行う設定は「選択」キーによる「沸騰制御」で行ってください。

### 4. タイマー解除キー

このキーを押し「イチジカイジョ」に設定すると次の条件が一時解除されます。

- ・「省エネ」「学習省エネ」による運転
- ・「週間予約」、「休日予約」、適温設定温度以上、以下による休止

### 5. エコ運転キー

「学習省エネ運転」の運転、停止を行います。

### 茶の葉交換キー

このボタンは使用しません。

### 14. 設定キー

入力操作した内容が設定されます。また故障解除時にキーを押します。

### 表示部

待機画面では、現在時刻・湯タンク・冷水機の運転状態および温度を表示します。

飲料が抽出できない状態では「休止モニター」、故障の場合は「故障モニター」を自動表示します。

### 6. 湯・水・原料キー

キーを押すと下表の機能を順次表示します。

### 7. カウンターキー

トータル→ボタン別→有料(\*)の累計抽出回数を順次自動送り表示します。  
(\*)別売のコイン管理装置が必要です。

### 8. 選択キー

キーを押すと次ページの機能を順次表示します。

### 11. 訂正キー

表示部の指示により設定内容を変更・自動表示送りを停止をするときに使用します。

### 15. 終了キー

待機画面に戻ります。「リンス」「沸騰」の動作中はボタンを押しても待機画面に戻りません。

### 9. 10. 12. 13. カーソルキー

表示画面の中で設定する項目送り、項目・内容・数値選択・自動送り表示を停止するのに使います。

◀▶ : 項目・内容選択

△▽ : 項目送り、内容・数値選択、自動送り表示停止



キー

機能	内容
原料	原料基準値・原料の量を設定できます。
湯・水	各飲料ボタンの湯または水の抽出する量と温度を設定できます。
濃さの追加	濃いめボタンを押したときの、原料量を増やす割合を設定できます。
量の追加	量多めボタンを押したときの、飲料量を増やす割合を設定できます。
カップサイズ	使用するカップのサイズを設定できます。



# コントローラーの使いかた (つづき)

## 数値設定する機能の設定可能値

機 能		設定可能値	設定のきざみ	
湯・水・原料	原料の量(注1)	0g~8.0g	0.1g	
	湯・水の量(注2)	50ml~200ml・しない	1ml	
	湯・水の温度	COLD・3℃~85℃・HOT	1℃	
	濃さの追加(注3)	0~50%	1%	
	量の追加(注4)	0~99%	1%	
	カップサイズ	S・M・L		
湯温・適温	湯温	70℃~98℃	1℃	
	適温(注5)	湯	63℃~85℃・しない	1℃
		冷水	3℃~20℃・しない	1℃
週間予約	週間予約動作	する・しない		
	曜日	月~日・一括(毎日)		
	時刻(注6)	ON時刻	00:00~23:59・連続	1分
		OFF時刻	00:00~23:59・連続	1分
冷水機運転	する・しない			
休日予約	休日予約動作	する・しない		
	年月日	開始日	000101~991231	1日
		完了日	000101~991231	1日
エコ制御	エコ制御運転の実行	する・しない		
	省エネ運転の実行	する・しない		
省エネ運転	時刻	ON時刻	00:00~23:59	1分
		OFF時刻	00:00~23:59	1分
	湯温	70℃~98℃	1℃	
学習省エネ運転	冷水温	0℃(氷あり検知制御)・3℃		
	適温(注5)	湯	63℃~85℃・しない	1℃
		冷水	9℃~20℃・しない	1℃
	開始時間	00:00~23:00・しない	1時間	
	沸騰制御	沸騰動作	する・しない	
動作音		する・しない		
時刻(注7)		00:00~23:59・しない	1分	
自動リンス		リンス動作	する・しない・週間予約同期	
	動作音	する・しない		
	曜日	月~日・一括(毎日)		
	時刻(注7)	00:00~23:59・しない	1分	
	湯量	0ml~100ml	1ml	
	水量	0ml~100ml	1ml	
	フィルター(除菌浄水器)	0ml~5000ml	1ml	
タンク排水	排水動作	する・しない・週間予約同期		
	曜日	月~日・一括(毎日)		
	時刻(注7)	00:00~23:59・しない	1分	
水フィルター交換	交換時期動作	しない・警告・停止		
	年月日	000101~991231	1日	
冷却水交換	交換時期動作	しない・警告・停止		
	年月日	000101~991231	1日	

- 湯・水・原料の量は目安であり、実際の量とは多少異なる場合があります。
- 工場出荷時は標準的な使いかたの値が設定されています。くわしくは各機能の設定画面を表示してご確認ください。
  - (注1) 飲料ボタン9、10には、原料の量を設定することはできません。
  - (注2) 飲料ボタン9、10はお湯、冷水用の飲料ボタンです。  
工場出荷時には飲料ボタンを押している間だけ飲料を抽出する設定ですが、湯・水の量を「シナイ」から数値を選択しますと、その設定した量の飲料が定量抽出されます。  
またこのとき、ほかの飲料ボタンとは異なり、飲料ボタンを押している間だけ飲料を抽出することもできます。
  - (注3) 設定した量の原料が追加抽出されます。  
例：原料1.0gで濃さの追加20%のときは0.2g追加抽出されます。
  - (注4) 量の追加設定は、追加時の抽出量が最大200ml以上になる値は入力できません。  
例：湯・水の量が150mlの場合、33%を超える値は入力できません。
  - (注5) 適温を「シナイ」に設定すると湯温や水温に関係なく抽出できます。
  - (注6) 時刻を「連続」に設定すると終日運転または終日停止になります。
  - (注7) 時刻を「シナイ」に設定すると動作はしません。

# 沸騰させる

## すぐに沸騰させたい場合

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*フットウチュウ* ジョウキガ デマスガ イジョウ デハ アリマセン	「沸騰」キーを押すと左記画面が順次自動表示され沸騰動作を開始します。 沸騰が終了すると待機画面に戻ります。

- 沸騰動作中に「沸騰」キーを押すと解除します。
- フロントパネルの「沸上げ」キーを押しても沸騰させることができます。

## 定期的に沸騰させたい場合

【例】 8：30と11：30に沸騰させ、動作中は動作音を鳴らす。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*フットウセイギョ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記の画面が出るまで「選択」キーを繰り返し押しします。（「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。）
2		セツテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ドウサ」が点滅します。
4		ドウサ スル	 キーで点滅位置を移動し、   キーで「スル」にします。
5		ドウサ スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		オト スル	  キーで「オト」の画面を表示させます。 「スル」に設定してあると沸騰動作中に音がします。
7		カイスウ 1カイメ 2カイメ ジコク 00：00 00：00	  キーで「ジコク」の画面を表示させます。
8		カイスウ 1カイメ 2カイメ ドウサ 08：30 11：30	 キーで点滅位置を移動し、   キーで「1カイメ」を「8：30」、「2カイメ」を「11：30」にします。
9		カイスウ 1カイメ 2カイメ ジコク 08：30 11：30	「設定」キーを押し、設定を確定します。
10		待機画面に戻ります。	設定完了です。

# コントローラーの使いかた (つづき)

## 冷水機の運転・停止

【例】冷水機を停止させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*レイスイキ ウンテン* ナイヨウハ T オワリハ E	「冷水機運転」キーを押すと左記画面が表示されます。
2		ウンテン T デ エランデ S ヲ オス	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され、「ウンテン」が点滅します。
3		テイシ T デ エランデ S ヲ オス	「訂正」キーを押すごとに、「ウンテン」と「テイシ」が表示されますので「テイシ」を表示します。
4		待機画面に戻ります。	冷水機の運転が停止します。設定完了です。

- 1週間以上、冷水機を停止させる場合は、冷却用タンクの水を排出してください。

## 適温になっていないが抽出する

お湯や冷水の温度が適温に達してなく、飲料が抽出できないときに飲料を抽出したい場合には、次の操作を行ってください。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*タイマー イチジ カイジョ* ナイヨウハ T オワリハ E	「タイマー解除」キーを押すと左記画面が表示されます。
2		ウンテン T デ エランデ S ヲ オス	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され、「ウンテン」が点滅します。
3		イチジ カイジョ T デ エランデ S ヲ オス	「訂正」キーを押すごとに、「ウンテン」と「イチジカイジョ」が表示されますので「イチジカイジョ」を表示します。
4		待機画面に戻ります。	抽出ができるようになります。

- 通常の運転状態に戻すには、順序3で「ウンテン」に設定してください。
- 「週間予約」「休日予約」の休止条件で休止中の場合は、同じ操作で休止を一時解除できます。
- 「省エネ運転」「学習省エネ運転」を設定中の場合は、同じ操作で設定を一時解除できます。

## リンスする

### すぐにリンスをする場合

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*リンスチュウ* ネットウガ デマスノデ チュウイ シテクダサイ	キーを押すとリンスを実行し、リンスが終了すると待機画面に戻ります。

- リンス中は飲料抽出口から湯が出ますので、やけどに注意してください。

## 定期的にリンスをする場合

【例】 毎日、11:00と16:00と22:00に湯量40ml、水量30mlでリンスを行い、動作中は動作音をさせる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ジドウリンス* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記の画面が出るまで「選択」キーを繰り返し押します。(「選択」キーを押した後、  キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ スル	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ドウサ」が点滅します。自動リンスを行わない場合は、カーソルキーと「設定」キーで「シナイ」に設定してください。
4	 	オート スル	キーで「オート」の画面を表示させます。 「スル」に設定してあると動作中に音が鳴ります。
5	 	ヨウビ 1カイメ 2カイメ イッカツ 07:00 22:00	キーで「ヨウビ」の下が「イッカツ」の画面の「1カイメ」「2カイメ」の画面を表示させます。
6	 	ヨウビ 1カイメ 2カイメ イッカツ 11:00 16:00	キーで点滅位置を移動し、  キーで「1カイメ」を「11:00」、「2カイメ」を「16:00」にします。
7		ヨウビ 1カイメ 2カイメ イッカツ 11:00 16:00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
8	 	ヨウビ 3カイメ 4カイメ イッカツ シナイ シナイ	キーで「ヨウビ」の下が「イッカツ」の画面の「3カイメ」「4カイメ」の画面を表示させます。
9	 	ヨウビ 3カイメ 4カイメ イッカツ 22:00 シナイ	キーで点滅位置を移動し、  キーで「3カイメ」を「22:00」にします。
10		ヨウビ 3カイメ 4カイメ イッカツ 22:00 シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
11	 	ユ ミズ フィルタ リョウ 50 20 0	キーで「リョウ」の画面を表示させます。
12	 	ユ ミズ フィルタ リョウ 40 30 0	キーで点滅位置を移動し、  キーで「ユ」を「40」、「ミズ」を「30」にします。
13		ユ ミズ フィルタ リョウ 40 30 0	「設定」キーを押し、設定を確定します。
14		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序3で「ドウサ」を「シュウカンヨヤクドウキ」(週間予約同期)に設定すると、「週間予約」(「週間予約を設定する」22ページ参照)の設定OFF時刻にリンス動作を行います。
- 順序12でフィルターの量を設定すると、動作設定してある曜日に1日1回だけ、1回目のリンス時刻に除菌浄水器(水フィルター)内部の水の入れ替えを行います。

# コントローラーの使いかた (つづき)

## 原料基準値を設定する

この機能は「湯・水・原料」機能で設定した原料の量が、実際の量と異なる場合に補正をする機能です。  
設定するには、はかりなどが必要です。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ゲンリョウ キジュンチ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。(「湯・水・原料」キーを押した後、キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		キジュンチ 1 2 ゲンリョウ 1. 2 3. 4	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ゲンリョウ」が点滅します。
4	 	キジュンチ 1 2 ゲンリョウ 5. 6 3. 4	キーで1の下を点滅させ「訂正」キーを押すと、右側の原料容器から原料が出てきますので容器で受け計量します。 数回測定して出した平均値をキーで入力します。ここでは仮に5.6gとします。
5		キジュンチ 1 2 ゲンリョウ 5. 6 3. 4	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●コントローラーを交換したときや、RAMクリアを行ったときは、基準値設定をしてください。

## 原料の量を設定する

【例】飲料ボタン3に原料量1.2gを設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ゲンリョウ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。(「湯・水・原料」キーを押した後、キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ボタン ゲンリョウ 1 0.8	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ボタン」の下が点滅します。
4	 	ボタン ゲンリョウ 3 1.2	キーで「ボタン」の下を「3」にしてください。次にキーで「ゲンリョウ」の下を点滅させキーで「1.2」にします。
5		ボタン ゲンリョウ 3 1.2	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

## 飲料の量を設定する

【例】 飲料ボタン5を量120ml、温度75℃に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ユ・ミズ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。（「湯・水・原料」キーを押した後、キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ボタン リヨウ オンド 1 100 80	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ボタン」の下が点滅します。
4		ボタン リヨウ オンド 5 120 75	キーで「ボタン」の下を「5」にしてください。次にキーで点滅位置を移動しキーで「リヨウ」を「120」、「オンド」を「75」にします。
5		ボタン リヨウ オンド 5 120 75	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

## 濃さの追加を設定する

【例】 飲料ボタン3を30%追加に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*コサノ ツイカ* % ツイカ ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。（「湯・水・原料」キーを押した後、キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ボタン コサノツイカ 1 20	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ボタン」の下が点滅します。
4		ボタン コサノツイカ 3 30	キーで「ボタン」の下を「3」にしてください。次にキーで「コサノツイカ」の下を点滅させキーで「30」にします。
5		ボタン コサノツイカ 3 30	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

# コントローラーの使いかた (つづき)

## 量の追加を設定する

【例】 飲料ボタン3を30%追加に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*リョウ ツイカ* % ツイカ ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。(「湯・水・原料」キーを押した後、キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ボタン リョウノツイカ 1 20	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ボタン」の下が点滅します。
4		ボタン リョウノツイカ 3 30	キーで「ボタン」の下を「3」にしてください。次にキーで「リョウノツイカ」の下を点滅させ キーで「30」にします。
5		ボタン リョウノツイカ 3 30	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●量の追加設定は、追加時の抽出量が最大200ml以上になる値は入力できません。

例：湯・水の量が150mlの場合、33%を超える値は入力できません。

## カップサイズを設定する

【例】 カップサイズをMサイズからLサイズに設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*カップサイズ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。(「湯・水・原料」キーを押した後、キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		カップサイズ M ホカハ U・D オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「カップサイズ」の右が点滅します。
4		カップサイズ L ホカハ U・D オワリハ E	キーで「カップサイズ」の右を「L」にしてください。
5		カップサイズ L ホカハ U・D オワリハ E	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

## 累計の抽出回数を見る

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*カウンター* 130601 ホカハ U・D ~131231	「カウンター」キーを繰り返し押すと、年月日→トータル→ボタン1…ボタン10→有料と抽出回数が順次表示されます。 (「カウンター」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。)
		トータル 000000 ホカハ U・D オワリハ E	
		ユウリョウ 000000 ホカハ U・D オワリハ E	
2		待機画面に戻ります。	確認終了です。

## 休止・故障履歴を見る

[例] 故障履歴を見る

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*コショウリレキ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。(「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。)
2		ナイヨウハ T→U・D オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		9. 13-10-10 12:34 コイン シンゴウ イジョウ	「訂正」キーを押すと最新の内容9項目が新しいものから順次   キーにより表示されます。 画面内容は上段の左から履歴番号、故障の年月日、同時刻、下段に故障内容の表示となっています。
		1. 13- 6- 1 1:01 ユ センサー シタ カイホウ	
4		待機画面に戻ります。	確認終了です。

● 休止履歴を見る場合は順序1で「キュウシリレキ」を表示してください。

休止内容は下記項目を表示します。

- ・湯低水位
- ・湯温低い
- ・水温高い
- ・冷却中
- ・水フィルター交換
- ・冷却水交換
- ・排水バケツ満水
- ・湯断水
- ・水断水
- ・水タンク断水
- ・冷却水断水
- ・停電開始
- ・停電終了

● 故障内容は下記項目を表示します。

- ・水センサー開放
- ・湯センサー下開放
- ・電池異常
- ・水センサー短絡
- ・湯センサー下短絡
- ・コイン信号異常
- ・IBCセンサー異常
- ・湯センサー異常
- ・冷水機異常
- ・漏水

● 表示される内容は機種、置台の種類によって異なります。

# コントローラーの使いかた (つづき)

## 現在時刻を合わせる

【例】 13-11-1 12:00に合わせる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ゲンザイジコク* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。(「選択」キーを押した後、キーを押しても項目送りができます。)
2		セツテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		13- 6- 1 (土) 1:01	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「年」が点滅します。
4		13-11- 1 (金) 12:00	キーで点滅位置を移動し、キーで各項目を変更します。(曜日は自動修正されます。)
5		13-11- 1 (金) 12:00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

## 湯温・適温を設定する

【例】 湯温を95℃、湯の適温を70℃、冷水の適温を10℃に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ユオン・テキオン* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。(「選択」キーを押した後、キーを押しても項目送りができます。)
2		セツテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ユオン テキオン hot cold 98℃ 63℃ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ユオン」の下が点滅します。
4		ユオン テキオン hot cold 95℃ 70℃ 10℃	キーで「95」を表示させます。 キーで点滅位置を移動し、同様に適温の hot (湯) cold (水) も変更します。
5		ユオン テキオン hot cold 95℃ 70℃ 10℃	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●適温を「シナイ」に設定すると、湯・冷水の温度に関係なく抽出できます。

## 週間予約を設定する

【例】日曜日を終日停止、その他の日は8：00から20：00の間運転とし、冷水機も同様の運転とする。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*シュウカン ヨヤク* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記の画面が出るまで「選択」キーを繰り返し押しします。（「選択」キーを押した後、  キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ドウサ」が点滅します。
4	 	ドウサ スル	キーで点滅位置を移動し、  キーで「スル」にします。
5		ドウサ スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	ヨウビ ON OFF イッカツ レンゾク ** : **	キーで「ヨウビ」の下が「イッカツ」の画面を表示させます。
7	 	ヨウビ ON OFF イッカツ 08：00 20：00	キーで点滅位置を移動し、  キーで「ON」を「08：00」、「OFF」を「20：00」にします。
8		ヨウビ ON OFF イッカツ 08：00 20：00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9	 	ヨウビ ON OFF (日) 08：00 20：00	キーで「ヨウビ」の下が「日」の画面を表示させます。
10	 	ヨウビ ON OFF (日) 08：00 レンゾク	キーで点滅位置を移動し、  キーで「OFF」を「レンゾク」にします。
11		ヨウビ ON OFF (日) ** : ** レンゾク	「設定」キーを押し、設定を確定します。 ON時刻は自動的に「** : **」となります。
12	 	レイスイキ ウンテン スル	キーで「レイスイキ ウンテン」の画面を表示させます。
13	 	レイスイキ ウンテン シナイ	キーで点滅位置を移動し、  キーで「シナイ」にします。
14		レイスイキ ウンテン シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
15		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 設定は後設定優先となっているため、順序6と9を逆にすると毎日が指定時刻の運転となります。  
(後から一括設定すると日曜日も含めて設定されるため、日曜日の終日停止が解除されてしまいます。)
- 順序12で冷水機運転を「スル」に設定すると、先に設定した週間予約に関係なく、運転停止中でも冷水機だけは運転します。

# コントローラーの使いかた (つづき)

## 休日予約を設定する

【例】 2013年7月14日から2013年7月16日まで運転を休止する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*キュウジツ ヨヤク* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記の画面が出るまで「選択」キーを繰り返し押し ます。(「選択」キーを押した後、  キーを押し ても項目送りができます。)
2		セツテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ドウサ」 が点滅します。
4		ドウサ スル	 キーで点滅位置を移動し、  キーで 「スル」にします。
5		ドウサ スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		1カイメ カイシ カンリョウ 130401 130401	 キーで「1カイメ」の画面を表示させます。
7		1カイメ カイシ カンリョウ 130714 130716	 キーで点滅位置を移動し、  キーで 「カイシ」を「130714」、「カンリョウ」を 「130716」にします。
8		1カイメ カイシ カンリョウ 130714 130716	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 最大9回まで設定できます。
- 2日以上ご使用にならなかったときは、雑菌繁殖の恐れがあります。  
湯タンクや置台の水タンクの水は、新しい水道水に入れ替えてください。  
また、各飲料ボタンを5～6回押しして注水動作を行い、配管内の残水を排水してください。

## エコ制御運転を行う

[例] エコ制御を設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*エコ セイギョ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。(「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「シナイ」が点滅します。
4		ドウサ スル	  キーで「スル」にします。
5		ドウサ スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

# コントローラーの使いかた (つづき)

## 省エネ運転を行う

[例] 20:00から8:00まで省エネ運転を行う。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		* ショウエネ ウンテン* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押し ます。(「選択」キーを押した後、  キーを押しても項 目送りができます。)
2		セツテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ドウサ」が点滅 します。
4		ドウサ スル	 キーで点滅位置を移動し、  キーで 「スル」にします。
5		ドウサ スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		ON OFF ジコク 00:00 00:00	 キーで「ジコク」の画面を表示させます。
7		ON OFF ジコク 20:00 08:00	 キーで点滅位置を移動し、  キーで 「ON」を「20:00」、「OFF」を「08:00」に します。
8		ON OFF ジコク 20:00 08:00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

● 順序7でONとOFFを同一時刻にすると、終日省エネ運転となります。

## 学習省エネ運転を設定する

[例] 湯タンクの設定温度を70℃、冷水機の設定温度を0℃とする。  
また、湯および冷水を温度に関係なく抽出可能とする。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		ガクシュウショウエネ ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押しします。(「選択」キーを押した後、キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ ガクシュウショウエネ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ガクシュウショウエネ」が点滅します。
4		ドウサ ガクシュウショウエネ スル	キーで点滅位置を移動し、キーで「スル」にします。
5		ドウサ ガクシュウショウエネ スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		ユオン オンド 80℃ テイシ 70℃	キーで「ユオン」の画面を表示させます。
7		ユオン オンド 70℃ テイシ シナイ	キーで点滅位置を移動し、キーで「オンド」を「70℃」、「テイシ」を「シナイ」にします。
8		ユオン オンド 70℃ テイシ シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		スイオン オンド 3℃ テイシ 9℃	キーで「スイオン」の画面を表示させます。
10		スイオン オンド 0℃ テイシ シナイ	キーで点滅位置を移動し、キーで「オンド」を「0℃」、「テイシ」を「シナイ」にします。
11		スイオン オンド 0℃ テイシ シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
12		待機画面に戻ります。	設定完了です。

# コントローラーの使いかた (つづき)

## 自動的に湯タンクの水を入れ替える

この機能を使用するには建物の排水口へ直接排水できる場合で、別売の「自動洗浄装置」が必要です。

【例】日曜日の5:00に排水させ、水を入れ替える。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*タンク ハイスイ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記の画面が出るまで「選択」キーを繰り返し押し ます。(「選択」キーを押した後、  キーを押し ても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ドウサ」 が点滅します。
4		ドウサ スル	 キーで点滅位置を移動し、  キーで 「スル」にします。
5		ドウサ スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		ヨウビ ジコク (日) 00:00	 キーで「ヨウビ」の下が「日」の画面を表示 させます。
7		ヨウビ ジコク (日) 05:00	 キーで点滅位置を移動し、  キーで 「ジコク」を「05:00」にします。
8		ヨウビ ジコク (日) 05:00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序4で「ドウサ」を「シュウカンヨヤクドウキ」（週間予約同期）に設定すると、「週間予約」（「週間予約を設定する」22ページ参照）の設定OFF時刻に湯タンクの水を排水し、次の設定ON時刻に給水します。  
この機能を使用すると「週間予約」で停止中は湯タンク内は空になっていて、運転開始時に新しい水が給水されるので衛生的です。
- この機能は置台の排水タンクや排水容器に排水する場合は、湯タンクの容量の方が多く排水しきれません。  
建物の排水口へ直接排水する場合のみとなります。

## 水フィルターの交換時期を設定する

この機能を使用するには別売の除菌浄水器（水フィルター）または除菌浄水器付の置台が必要です。

【例】2013年10月1日に水フィルターを交換し、次の交換時期を1年後の2014年10月1日とする。

交換時期に達したら、休止モニターに表示し運転を停止させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ミズ フィルター コウカン* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記の画面が出るまで「選択」キーを繰り返し押し ます。（「選択」キーを押した後、   キーを押し ても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ドウサ」 が点滅します。
4		ドウサ テイシ	 キーで点滅位置を移動し、  キーで 「テイシ」にします。
5		ドウサ テイシ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		ゼンカイ ジカイ 130601 131001	 キーで年月日の画面を表示させます。
7		ゼンカイ ジカイ 130601 141001	 キーで点滅位置を移動し、  キーで 「ジカイ」を「141001」にします。
8		ゼンカイ ジカイ 131001 141001	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序4で「ドウサ」を「ケイコク」に設定すると、交換時期に達したとき休止モニターに表示されますが、運転は停止しません。

「シナイ」に設定するとこの機能は動作しません。

- 「ゼンカイ」の年月日は「ジカイ」の年月日を変更して「設定」キーを押したときのみ、その日の年月日に変更されます。

「ジカイ」の設定日が過ぎている場合、「ジカイ」の年月日はその日の年月日が表示されます。

「ドウサ」の設定内容の変更は「ゼンカイ」の年月日を変えずに変更することができます。

# コントローラーの使いかた (つづき)

## 冷却用タンクの水の交換時期を設定する

【例】2013年10月1日に冷却用タンクの水を交換し、次の交換時期を1年後の2014年10月1日とする。  
交換時期に達したら、休止モニターに表示し運転を停止させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*レイキャクスイ コウカン* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記の画面が出るまで「選択」キーを繰り返し押し ます。(「選択」キーを押した後、キーを押し ても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ドウサ」 が点滅します。
4		ドウサ テイシ	キーで点滅位置を移動し、キーで 「テイシ」にします。
5		ドウサ テイシ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		ゼンカイ ジカイ 130601 131001	キーで年月日の画面を表示させます。
7		ゼンカイ ジカイ 130601 141001	キーで点滅位置を移動し、キーで 「ジカイ」を「141001」にします。
8		ゼンカイ ジカイ 131001 141001	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序4で「ドウサ」を「ケイコク」に設定すると、交換時期に達したとき休止モニターに表示されますが、運転は停止しません。  
「シナイ」に設定するところの機能は動作しません。
- 「ゼンカイ」の年月日は「ジカイ」の年月日を変更して「設定」キーを押したときのみ、その日の年月日に変更されます。  
「ジカイ」の設定日が過ぎている場合、「ジカイ」の年月日はその日の年月日が表示されます。  
「ドウサ」の設定内容の変更は「ゼンカイ」の年月日を変えずに変更することができます。

# お手入れ

## 警告

部品の取り付け、取りはずしおよびお手入れするときは、電源スイッチを切る

感電やけがの原因になります。



指示

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない

ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

### 部品を取りはずし洗浄するときは

ぬるま湯（50℃以下）をご使用ください。高温のお湯を使用すると、変形したり故障の原因になります。

### 汚れが落ちにくいときは

薄めた中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジなどで擦り洗いし、きれいな水で洗剤を洗い流してください。

### 原料容器を着脱するとき

原料を入れたままで、原料容器を着脱するときは、原料容器の蓋に取り付いているキャップを原料容器先端にかぶせ、静かに取り扱ってください。

### お手入れが終わったら

部品をもとの位置に納め、電源スイッチを入れてご使用ください。

## お手入れの時期と手順

お手入れの時期と手順は下図の順番でおこないます。

順番が違うと取りはずせない部品もあります。取り付けるときは、逆の手順でおこなってください。

毎日のお手入れ

…①②とリンスキーによるリンス洗浄

月に一度のお手入れ

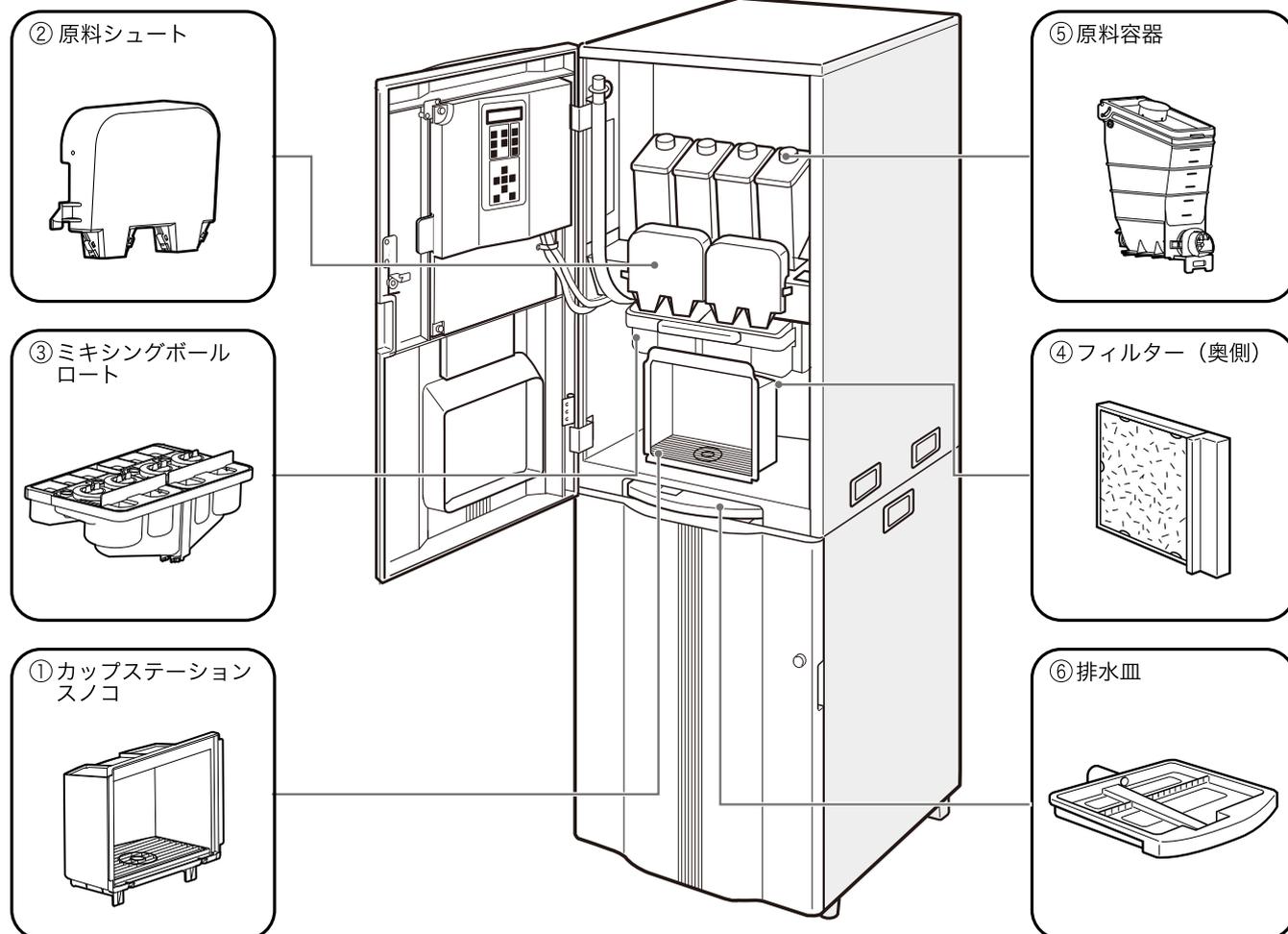
…⑤⑥と置台の排水受けの排水口

週に一度のお手入れ

…③④と湯タンクの排水

年に一度のお手入れ

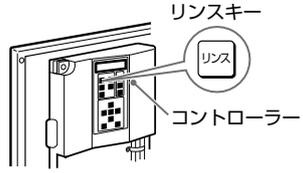
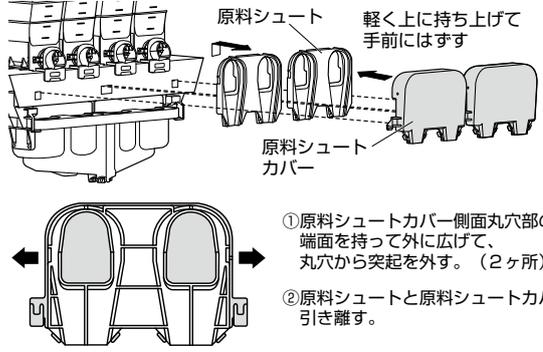
…冷却用タンクの水の交換



# お手入れ (つづき)

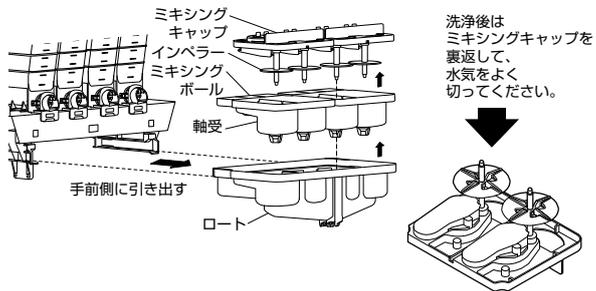
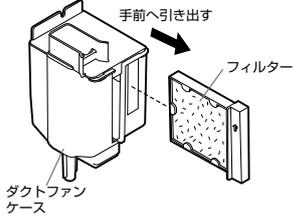
## 毎日のお手入れ

手順にしたがい部品を取りはずしてください。取り付けは逆の手順でおこないます。  
機械内外のホコリや汚れは、きれいなフキンでふき取ります。

手順	部 品	お手入れのしかた
—	ミキシングボール ロート	<p>リンス キーを押して湯を流し、飲料通過部分（ミキシングボール・ロート部分）を洗い流してください。</p> 
①	カップステーション スノコ	<p>少し持ち上げてから、手前に取りはずします。 洗浄した後は水気を良く切ってください。</p>
②	原料シュート	<p>上に軽く持ち上げてから、手前にはずしてください。 原料シュートカバー側面の丸穴部端面を持って外側へ広げ、丸穴から原料シュート側に設けられた突起（2ヶ所）を外し、原料シュートと原料シュートカバーを引き離します。 洗浄した後、水気をよく切り、十分に乾燥させます。乾燥してから確実に原料シュートと原料シュートカバーを組み立て、取り付けてください。</p>  <p>①原料シュートカバー側面丸穴部の端面を持って外に広げて、丸穴から突起を外す。(2ヶ所) ②原料シュートと原料シュートカバーを引き離す。</p>

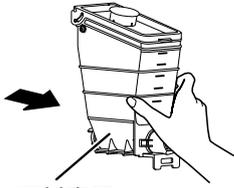
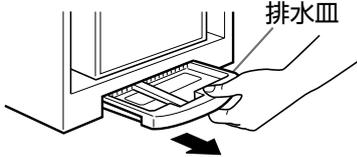
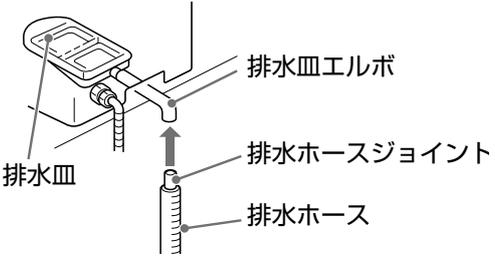
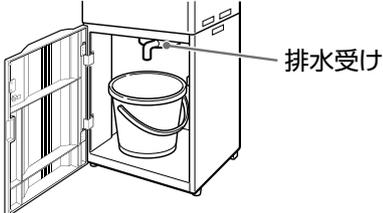
## 週に一度のお手入れ

①②の部品を取りはずした後、手順にしたがい部品を取りはずしてください。  
取り付けは逆の手順でおこないます。

手順	部 品	お手入れのしかた
③	ミキシングボール ロート	<p>手前に引いてはずし、洗浄した後、水気をよく切り、取り付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ミキシングキャップに付いているインペラーの先端が、ミキシングボールの軸受の中に入るように組み合わせ、それぞれスムーズに回転することを確認してから、ロートと組み合わせて、本体に取り付けてください。</li> </ul>  <p>洗浄後はミキシングキャップを裏返して、水気をよく切ってください。</p>
④	フィルター	<p>フィルターを手前に引き出し、付属のフィルターと交換してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●汚れたフィルターはぬるま湯に浸け置き洗いした後、十分乾燥させてから保管してください。</li> </ul> 
—	湯タンク	<p>湯排水コックを開き、湯タンクの水を新しい水と入れ替えてください。 (9ページ「湯タンクの排水」参照)</p>

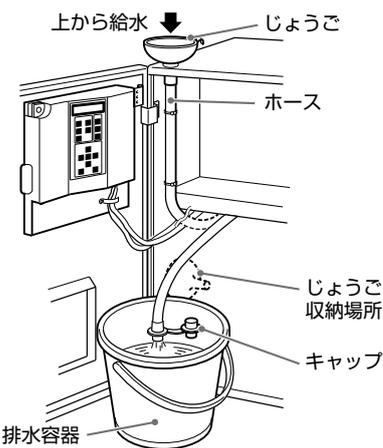
## 月に一度のお手入れ

①～④までの部品を取りはずした後、手順にしたがい部品を取りはずしてください。  
取り付けは逆の手順でおこないます。

手順	部 品	お手入れのしかた	
⑤	原 料 容 器	原料容器中の原料を出して、ぬるま湯で洗浄した後、十分乾燥させてください。	 <p>原料容器</p>
⑥	排 水 皿	本体底部から引き出して、ぬるま湯で洗ってください。	 <p>排水皿</p>
		卓上の直接排水式(Dタイプ)の場合は、排水皿エルボから排水ホースジョイントを外し排水皿を引き出してください。再度取り付ける際は、排水ホースジョイントを排水皿エルボ先端に確実に押し込み、緩みの無いことを確認してください。	 <p>排水皿エルボ 排水ホースジョイント 排水ホース</p>
—	置 台 排 水 口	置台上方の排水受けの排水口がゴミなどで詰まることがあります。化粧ネジ(1本)を取り、排水受けをはずし点検してください。ゴミなどが詰まっているときは、清掃してください。	 <p>排水受け</p>

## 年に一度のお手入れ

冷却用タンクの水の交換

		お手入れのしかた
排 水 方 法	キャップをはめたままホースをはずし、排水容器の中にホースの先端を入れ、キャップをはずし排水をします。(冷却用タンク容量：4.9L) 排水が終わったら、キャップをはめて、ホースを本体にセットしてください。	 <p>上から給水 じょうご ホース じょうご収納場所 キャップ 排水容器</p>
給 水 方 法	本体上部中央のネジをはずし上面板をはずしてください。ホースを本体にセットしたままキャップをはずし、上面の左手前側にある穴からじょうごを入れて、ホースの先端に差し込み、上から給水をします。じょうごは、本体内部の左側面の下側に収納されています。タンクがいっぱいになると、溢れて排水皿に水が流れるのが見えます。給水を止め、じょうごをはずして、ホースにキャップをはめてください。	

# 修理サービスを依頼する前に

こんなときは	調べるところ	処置のしかた																				
準備中が点灯	● コントローラーに休止モニターが表示されていませんか？	● 休止モニターの表示に従ってください。 ● 準備中点灯時には前面板マルチインフォメーション部に下表の通り、故障メッセージが表示されます。 <table border="1" data-bbox="957 392 1468 548"> <tr> <td>水センサー開放</td> <td>F 0</td> <td>湯センサー下短絡</td> <td>F 5</td> </tr> <tr> <td>水センサー短絡</td> <td>F 1</td> <td>湯センサー異常</td> <td>F 6</td> </tr> <tr> <td>IBCセンサー異常</td> <td>F 2</td> <td>漏水</td> <td>F 7</td> </tr> <tr> <td>冷水機異常</td> <td>F 3</td> <td>電池異常</td> <td>F 8</td> </tr> <tr> <td>湯センサー下開放</td> <td>F 4</td> <td>コイン信号異常</td> <td>F 9</td> </tr> </table>	水センサー開放	F 0	湯センサー下短絡	F 5	水センサー短絡	F 1	湯センサー異常	F 6	IBCセンサー異常	F 2	漏水	F 7	冷水機異常	F 3	電池異常	F 8	湯センサー下開放	F 4	コイン信号異常	F 9
	水センサー開放	F 0	湯センサー下短絡	F 5																		
水センサー短絡	F 1	湯センサー異常	F 6																			
IBCセンサー異常	F 2	漏水	F 7																			
冷水機異常	F 3	電池異常	F 8																			
湯センサー下開放	F 4	コイン信号異常	F 9																			
● 学習省エネ運転による休止中ではありませんか？	● 運転再開まで待つか、「エコ運転」キーで一時的解除してください。 ● 「沸騰」キーで湯タンクを沸き上げ、設定された適温になれば温飲料は抽出できます。																					
湯が沸かない	● 電源プラグがはずれていませんか？	● 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。																				
	● 電源スイッチが切れていませんか？	● 電源スイッチを入れてください。																				
	● 水タンクに水は充分入っていますか？ (下部給水タイプの場合)	● 水タンクの残水量が少なくなると本体へ給水しなくなり、湯タンクの水位が下がりヒーターに通電されなくなります。タンクに水を補給してください。																				
	● 断水していませんか？または給水配管の止水栓が閉まっていますか？(水道直結タイプの場合)	● 同上の理由でヒーターに通電されなくなります。給水配管の止水栓を開いてください。																				
	● 「週間予約」・「休日予約」の休止中ではありませんか？	● 運転再開まで待つか、「タイマー解除」キーで一時的解除してください。																				
● 学習省エネ運転による余熱モード中ではありませんか？	● 「エコ運転」キーで一時的解除するか、「沸騰」キーで湯タンクを沸き上げてください。																					
湯がぬるい	● 湯温の設定が低くなっていませんか？	● お望みの温度に設定してください。																				
	● 湯排水コックはしっかりと閉まっていますか？	● 湯が流れ出て、常に新しい水が入っているためです。湯排水コックはしっかりと閉めてお使いください。																				
	● 水タンクには水は充分入っていますか？ (下部給水タイプの場合)	● 水を補給してください。 約40分で沸き上がります。																				
	● 断水していませんか？ または給水配管の止水栓が閉まっていますか？ (水道直結タイプの場合)	● 給水配管の止水栓を開いてください。																				
	● 学習省エネ運転による余熱モード中ではありませんか？	● 「エコ運転」キーで解除するか、「沸騰」キーで湯タンクを沸き上げてください。																				
冷水の冷えがわるい	● 本体後面の排気口が塞がっていませんか？	● 本体を壁などの障害物から離してください。																				
	● 直射日光が当たっていませんか？	● 窓にブラインドなどをしてください。																				
	● 近くに熱器具がありませんか？	● 熱器具と離してください。																				
	● 連続して多量の冷水を取り出した後ではありませんか？	● 再び冷えるまでしばらくお待ちください。 約10分で適温となります。																				
	● 冷却用タンクに水が充分入っていますか？	● 冷却用タンクに給水してください。																				
	● 学習省エネ運転による余熱モード中ではありませんか？	● 運転再開まで待つか、「エコ運転」キーで一時的解除してください。																				
排水ランプが点滅	● 置台の排水タンクが満水ではありませんか？	● 排水タンクの水をすててください。																				
断水ランプが点滅	● 湯タンクまたは冷却用タンクの水位が低くありませんか？(休止モニターに表示されます)	● 湯タンクまたは冷却用タンクに給水してください。																				
	● 水タンクには水は充分入っていますか？ (下部給水タイプの場合)	● 水を補給してください。																				
	● 断水していませんか？ または給水配管の止水栓が閉まっていますか？ (水道直結タイプの場合)	● 給水配管の止水栓を開いてください。																				
	● 冷却用タンクに水が充分入っていますか？	● 冷却用タンクに給水してください。																				

こんなときは	調べるところ	処置のしかた
運転音が大きい	● 機体が不安定ではありませんか？	● 床にかいものなどをして、機体がグラグラしないように安定させてください。
	● 機体は他の製品に触れていませんか？	● 他の製品から離してください。
飲料の味がまずい 飲料の味が薄い 飲料の味が濃い	● コントローラーの湯・水・原料の量は適切ですか？	● 湯・水・原料の量を、お好みの味となるように再設定してください。
	● 原料の種類をかえていませんか？	● 指定の専用原料をご使用ください。
	● 原料は充分入っていますか？	● 原料を補給してください。
	● 原料容器出口がつまっていますか？	● 湿気が多いと出口がつまることがありますので、原料補給時につまりを取り除いてください。
	● 原料シュートは取り付けられていますか？	● 原料シュートを取り付けてください。原料シュートがないと原料が飛び散ります。

## 仕 様

項 目	給 茶 機 部	冷 水 機 部	
製 品 寸 法	巾450mm×奥行510mm×高さ780mm (置台組合せ1430mm)		
製 品 質 量	42kg		
タ ン ク 容 量	5.6L	4.9L	
湯・冷水温度	約90℃ (70~98℃可能)	約4℃	
原 料 容 器	4個		
原料容器の容量	約800ml		
給 水 管 口 径	G1/2A		
電 気 定 格	電 源	単相交流100V 50/60Hz共用	
	消費電力	1,040W	145/150W
表 示	LEDランプ		
加 熱 装 置	電熱装置	シーズ線ヒーター (1,000W)	—
	温度調節	サーミスタによる電子コントロール	—
	安全装置	温度過昇防止器	—
冷 却 装 置	圧 縮 機	—	完全密閉型
	凝 縮 機	—	プレートフィン付チューブ (強制空冷)
	冷 媒	—	HFC-134a
	温度調節	—	IBC (アイスバンクコントロール)
付 属 品	取扱説明書、工事説明書、お手入れシート、鍵、フィルター、(注1) 商品ラベル (注1) 商品ラベルセット、排水皿エルボ、飾りネジ		

(注1) 商品ラベルセットは使用する原料を表示するラベルで、商品ラベルは飲料の種類を表示するラベルです。

工場出荷時表示してある飲料以外の飲料を抽出する場合に使用します。商品ラベルの中から抽出する飲料のラベルを選び、前面板の商品ラベルと取り替えてください。

次に6ページの飲料ボタンと原料容器の関係を見ながら、商品ラベル横の飲料ボタンに対応する原料の商品ラベルセットを、原料容器と原料容器棚後部のラベルセットの上に貼ってください。

# ⚠ 長期使用製品の安全に関する表示

## ■設計上の標準使用期間：7年（製造年：本体内に西暦年をラベルで表示しています。）

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発煙・発火の事故に至るおそれがあります。

## ■設計上の標準使用期間とは

運転時間や温湿度など、下記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。

また、一般的な故障を保証するものではありません。

## ■経年劣化とは

長期間に渡る使用や放置にともない生じる劣化をいいます。

標準的な使用条件と異なる場合、本来の使用目的以外や改造等で使用された場合短い期間で故障や経年劣化による発煙・発火の事故に至るおそれがあります。

## ■標準的な使用条件

区分	項目	条件
環境条件 (屋内使用)	電圧	交流100V
	周波数	50Hz／60Hz
	室温	5℃～35℃
	湿度	85%以下
負荷条件	給水圧	0.1MPa～0.75MPa
	給水温度	5℃～30℃
	負荷	12時間／日 使用
使用条件	1日使用杯数	100杯
	1ヶ月使用杯数	2,000杯
	1年間使用杯数	24,000杯

株式会社 **ユニアットライフ**